❸スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

フィリピン/バングラデシュ「読売巨人軍による野球指導」

2020年1月11日、2021年2月10日、2022年1月26日(フィリピン)
2022年1月13日、12月12～18日(バングラデシュ)

フィリピン・ミンダナオで北篤氏(元巨人外野手)の熱のこもった指導を受ける子どもたち

背景/課題

開発途上国では野球の用具が手に入りにくく、指導者不足や競技者の少なさ等から野球を行う環境が整っていないが、野球の普及や野球(スポーツ)を通じた支援のニーズが高い。JICAと読売巨人軍は、2015年から開発途上国における野球の普及・振興と、野球を通じた青少年の健全な育成を図ることを目的に連携協定を結んでいる。

目的

野球の普及・振興、野球を通じた青少年の健全な育成、スポーツを通じた多様性のある社会、平和な社会の実現への貢献

活動内容

- 巨人軍コーチによる途上国での野球指導（オンライン/オンサイト）と野球教室等のスポーツ参加機会の提供
- 野球指導における巨人軍のノウハウ活用

成果

- 巨人軍の矢貫俊之元投手、北篤元外野手、木村正太元投手を含む5名をフィリピンに派遣し、約200人の子どもたちを対象に野球教室を開催し、用具が不足する現地でもできるトレーニングなども指導(2020年)。
- 日本バングラデシュ国交樹立50周年イベントとして、在バングラデシュ日本人学校での野球指導や日本人駐在員チームとナショナルチームとの壮行試合を実施。また、今後も反復して練習できる基礎的なメニューも指導。